

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

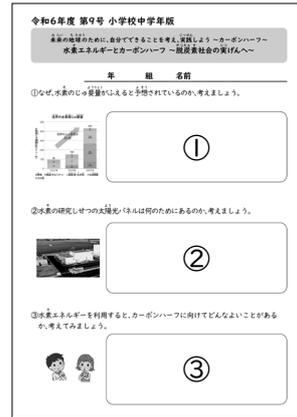
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
水素エネルギーとカーボンハーフ ～脱炭素社会の実げんへ～

①表題



②ねらい

- ・水素エネルギーについて知る。
- ・水素エネルギーは地球に優しいエネルギーの一つであることを理解する。
- ・水素の特徴と世界中で水素の需要が高まってきている理由を知る。
- ・水素をつくる方法には、化石燃料を原料とする方法と水を分解する方法とがあることを知る。
- ・脱炭素社会の実現に向けて、水素エネルギーの利用を広める取組が進められていることを理解する。

③本教材で扱う 主な内容

水素、水素エネルギー、水素をつくる方法、水素エネルギーの利用

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、水素エネルギーが温室効果ガスを出さない地球に優しいエネルギーであることを理解する。	○ 水素の性質や特徴について説明する。	◆ 掲示用教材①
○ 世界中で水素の需要が高まってきている理由を考える。	○ 「世界の水素等じゅ要量」のグラフを示し、そこから読み取れることについて考えるよう、声掛けをする。	◆ 掲示用教材① ワークシート①
○ 掲示用教材②を見て、水素をつくる方法には化石燃料を原料とする方法と、水を分解する方法があることを知る。	○ 水素の研究施設の写真から、再生可能エネルギーを利用した水素の製造方法があることに気付くよう、声掛けをする。	◆ 掲示用教材② ワークシート②
○ 水素研究施設の写真を、太陽光パネルが何のためにあるのか、考える。	○ カーボンハーフスタイル 推進資料第5号を示してもよい。	■ 東京都教育庁 環境教育ポータル 
○ 掲示用教材③を見て、いろいろな乗り物や様々な場所で水素エネルギーの導入や普及が進められていることを知る。	○ 水素エネルギーの利用例や水素エネルギーの導入、普及を進めるための取組について説明する。	◆ 掲示用教材③ ■ 東京都産業労働局 Tokyo水素ナビ 
○ 掲示用教材④を見て、水素エネルギーを利用することで、カーボンハーフに向けてどんなよいことがあるか、考える。		◆ 掲示用教材④ ワークシート③ ■ 東京都環境局 「わが家の環境局長」 事業 

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料1号から9号の教材、指導資料、ワークシート、イラストや図表等を公開しています。



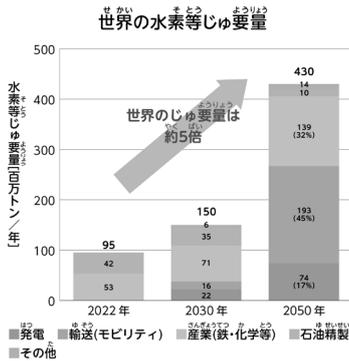
リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和6年度 第9号 小学校中学年版

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
水素エネルギーとカーボンハーフ ～脱炭素社会の実げんへ～

年 組 名前

①なぜ、水素のじゅ要量がふえると予想されているのか、考えましょう。



②水素の研究しせつの太陽光パネルは何のためにあるのか、考えましょう。



③水素エネルギーを利用すると、カーボンハーフに向けてどんなよいことがあるか、考えてみましょう。

